



## 生徒代表歓迎の言葉～新任式において～

先日の新任式において、生徒代表の西村泉那さん（2年4組）が、新たに着任した先生方へ向けて歓迎の言葉を述べました。

校庭の木々がやわらかな緑をまとい、春の風が光を運ぶ季節となりました。本日、この附属中学校に新しく着任された先生方をお迎えできますことを、私たち生徒一同、心待ちにしておりました。

先生方、ようこそ附属中学校へ。附属中学校には、長く大切に受け継がれてきた校訓があります。それは、「光と力と望みと」という言葉です。この言葉は、日々の生活の中で、私たちの歩む道を確かに照らし続けています。

「光」

それは、物事の本質を見つめ、自らを高めようとする知の輝きです。先生方とともに、授業やさまざまな活動を通して、私たちの知的好奇心に火を灯し、学びを追究していきたいと思います。

「力」

それは、困難に向き合い、乗り越えようとする意志の強さであり、仲間と支え合いながら歩むことのできる結びつきの力でもあります。先生方とも心を通わせるとともに、先生方にご指導いただくことで、私たちの中にある力を、より確かなものへと高めていきたいと思います。

「望み」

それは、どのような時にも未来を信じ、よりよい明日へ向かって歩み続けようとする心です。中学校生活の中では、時に悩み、立ち止まることもあるかもしれませんが、それでも私たちは、この「望み」を胸に、前を向いて進んでいきたいので、温かく見守ってください。

そして、校訓「光と力と望みと」の最後にある「と」という一文字。

ここには、まだ言葉にならない未来や、これから出会う無限の可能性が、託されているように思います。先生方との新しい出会いもまた、その「と」の先につながる、大切な始まりの一つです。

また、附属中学校では、生徒が授業や行事をつくり上げることを大切にしています。先生方とともに考え、ともに学び、学校で過ごす時間をより豊かなものにしていけることを、私たちは今から楽しみにしています。今日、先生方をお迎えしたことで、この学校の物語に新しい1ページが加わりました。先生方のまなざしや言葉が重なることで、附属中学校はこれまで以上に彩り豊かな場所になっていくことと思います。その日々の始まりに立ち会えることを、私たちは心からうれしく思っています。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

